

NIPPON防災資産



特別展

横田切れ130年

明治29(1896)年に発生した横田切れから130年となることを踏まえて、当時の被害状況や気象状況などをあらためて紹介する特別展を開催しました。



期間：令和8年7月4日(土)～9月6日(日)
会場：信濃川大河津資料館2F企画展示スペース
主催：信濃川河川事務所



大河津分水建設の契機となった「横田切れ」。現代の地図への浸水エリアの重ね合わせ、横田切れの語り部資料などのパネル約40点と横田切れの被災状況が記された書物など実物資料を展示しました。



横田切れの被害が描かれた当時の絵の現在の場所を並べて展示し、被害が各地に及んでいたことを紹介しました。

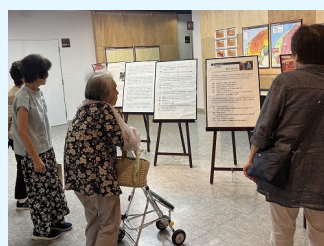


横田切れの体験談が記された資料や横田切れの被害状況をまとめた冊子なども展示しました。



長野県に大雨が降った後に新潟県に大雨が降ったことにより大規模な洪水が発生したことなども紹介しました。

来場者の声



- ・横田切れの惨状が分かるとても良い展示でした。
- ・自分が住んでいる地域は、沢山の方が亡くなり、家屋が壊れ、こんなにも酷かったのかと思いました。